

2020 年度実施概要

学校名

能登町立松波小学校

採択活動名

海に関する体験活動を通して、ふるさとの海に親しもう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 1年「生きもの大すき」 2年「生きものといっしょに」 ～磯遊びを通して海の生き物に親しもう～	1, 2年	生活科（遠足）
2. 「身近な海に親しもう」～釣り体験を通して～	3, 4, 5年	総合的な学習の時間（遠足）
3. 「海の資源を活かす取り組みに触れよう」	5, 6年	総合的な学習の時間
4. 「人のたんじょう」	5年	理科

取り組みの概要

1, 2年生：「のと海洋ふれあいセンター」で磯観察，磯遊び（10月15日遠足）

1年「生きもの大すき」 2年「生きものといっしょに」～磯遊びを通して海の生き物に親しもう～

実際に海の生き物に触れたり映像を観たりして、海の生き物に親しんだ。また、遊覧船に乗って九十九湾を一周し、海から見る景色を味わった。養殖場では、えさやりを行った。



3, 4, 5年生：「のと海洋ふれあいセンター」（九十九湾）近くの防波堤で釣り（10月15日遠足）

「身近な海に親しもう」～釣り体験を通して～

始めに、「能登少年自然の家」の方から、エサのアオムシの付け方や周辺でよく釣れる魚の種類などを教えてもらった。1時間ほどで、5匹の魚を釣り上げる子もいた。また、魚を釣ることができなかった子も、エサに寄って来るたくさんの魚たちを見ることができた。



5, 6 年生：イカの一晩干し体験（11月19日総合的な学習の時間）

「海の資源を活かす取り組みに触れよう」

「能登町農林水産加工センター」の方に、イカのさばき方（包丁の使い方や内臓、メガラスの取り出し方など）を教えてもらい、児童一人ひとりが2～3ばいのイカをさばいた。さばいたイカは、「能登町農林水産加工センター」で職員によって一晩干し、真空パックされて、児童の手に届いた。



5 年生：ウニの受精を観察（1月14日 5年理科「人のたんじょう」）

「能登里海教育研究所」の浦田慎さんと木下靖子さんの協力をいただいて、「人のたんじょう」の単元の導入として、ウニの受精の観察を行った。



活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

（本ファイルへの貼り付け，別ファイルでの添付，どちらでも構いません）